

【実施事業名】『どっぶり！！山での生活』

テーマ ・不登校の子どもたちの学びの場を提供する
・保護者同士のネットワークや安心して語り合える継続した場を提供する



【事業内容】

日時：10月16日(金)～18日(日)

会場：ひるぜん自然の家

参加者：19名(スタッフ9名)

プログラム：カメラマン森本二太郎さん宅訪問、バーベキュー、スパイスカレー作り、保護者交流会、森林セラピー、新庄村毛無山登山、果物・野菜収穫



【子どもの声】

・いつも出来ない珍しい事をやらせてもらって、とても楽しいです。写真なども、普段撮れない写真を撮れたり、山ならではの話を聞けたりと、とても色々な体験をさせてもらい、嬉しく思います。

・山登りと芋ほりが楽しかった！山登りで危ないところを大人の方が教えてくれたのがよかった、うれしかった！

・今回はとても面白い旅でした。是非次の旅にも参加したいと思いました。
日頃の疲れを取れる旅をありがとうございました。

・普段できないことが出来て楽しかった、今度は違う山にのぼってみたい！！

【保護者の声】

・いつも内容もりだくさんでスタッフさんや参加者さんに会えるのが楽しみです。時間どおりきっちり！やる事を押し付けず、一人一人のペースに合わせて対応して下さいるので、親も心から、安心して参加できます。まるで、大好きな友達の家に来たような気分になります。ここで一年のエネルギーをためて、また来年会う事を楽しみに家でもがんばることが出来ます。ぜひ、私の心のよりどころである、このイベントを来年もやって欲しいです。

・この旅では自然と親子が離れて程よい距離を取ることができて、その中でそれぞれのモチベーションが上がるような企画を毎回様々に用意して下さいるので、家庭で煮詰まっている状態がリセットされて、良いところが見えるようになり、心の余裕ができた。継続して見守って下さる、成長を見てくださることのありがたさを感じた。



成果

- ・継続して活動が続いていることで、子どもたちの仲間意識が強まり、大人も含めた集団全体に広がったと感じられた。登山で先頭の子どもたちが「後ろの人たちを待とう」と全体のペースをみて全員で登頂し、喜ぶ姿がありました。
- ・身の回りの整理整頓、食事の片づけ、皿洗いなど、声を掛けなくても、自主的に動いている姿が見られて成長を感じられ、主体的に子どもたちが活動できていた。

今後に向けて

- ・コロナウイルスの流行により、活動出来る範囲が狭まっていたので、次回は参加者が自由な発想で提案した活動を出るように、挑戦して行きたい。
- ・プログラムへの参加に柔軟な対応ができるように、スケジュールやスタッフの配置を考えていきたい。

